

- 1 ユミ、あなたは日本語と同じように中国語を話しますか。  
2 いいえ、話しません。私にとって中国語を話すことは難しい  
3 です。  
4 しかし、書かれた中国語は少し理解します。  
5 私たちは多くの同じ文字を使います。  
6 日本語にはいくつの文字がありますか。  
7 ええと、確かには知りません。  
8 ひらがなとカタカナと呼ばれる日本語の文字と同じように数  
9 千の中国の文字があります。  
10 わあ。それらを全て覚えるのは困難です。  
11 おばあちゃん、私は学校でスピーチをしなければなりません。  
12 私のクラスメートが英国について話すよう私に頼みました。  
13 手伝ってくれますか。  
14 もちろんです。イギリスから何冊かの雑誌を持ってきました。  
15 それらを見たいですか？  
16 さあ、それらはどこかしら。  
17 今朝、あなたのおじいちゃんにそれらを持ってくるように言  
18 いました。  
19 ああ、ここにあります。これらは役に立つかしら。  
20 はい。ありがとう、おばあちゃん。  
21 ユミ、私は2枚のコンサートのチケットを持っています。  
22 私と一緒に来たいですか？  
23 はい、喜んで。  
24 正午にコンサートホールで会いましょう。  
25 そこにどうやって行くかあなたは分かりますか。  
26 私は分かりません。正確にはそれはどこですか。  
27 それは中央通りの病院のそばです。  
28 分かりました。私は病院を見つけ方は知っています、しかし  
29 そこからどこに行くのか分かりません。  
30 心配しないで。私に電話してください、そうすれば私が行っ  
31 てあなたに会います。  
32 あなたは午前中とても疲れていて考えることができませんか。  
33 学校の前の夜は早く寝ること。  
34 授業の準備ができるようにいつも十分早く学校に着くこと。  
35 授業では注意深く聞き、ノートを取ること。  
36 あなたのノートはあとで読むのに十分なほど明瞭ですか。

- 32 もし、宿題があなたがするには難しすぎるなら、助けをもとめること。
- 33 いつもあなたができる限り早く宿題を終えること。
- 33 これは外国の人が日本人に対して持っている典型的なイメージです：眼鏡をかけていてカメラを持っている男の人
- 34 実際、50歳以上で少なくとも眼鏡を一つ持っている日本人の割合は約90パーセントです。
- 35 それに、30パーセント以上の日本の10歳代は眼鏡をかける必要があります。
- 36 眼鏡は私たちの毎日の生活で重要な役割を果たしています。
- 37 眼鏡はだいたい1550年にフランシスコ・ザビエルによって初めて日本にもたらされました。
- 38 彼は日本人にキリスト教を紹介するためにスペインから日本に来ました。
- 39 彼は鉄砲、時計そして眼鏡を含むその他の多くの物を持ってきました。
- 40 それは日本人にとって眼鏡を見る初めての機会でした、それで最初彼らはそれらをどのように使うのか分かりませんでした。
- 41 彼らがそれらを使うにつれて、彼らはそれらを自分たちで作りたくなりました。
- 42 日本で初めての眼鏡は江戸時代に宝石職人によって作られました。
- 43 これらの時代、ガラスのレンズをつくるのは困難でした。
- 44 それで、職人はレンズをつくるためにガラスの代わりに水晶を使いました。
- 45 それから、明治時代に政府は何人かの職人にヨーロッパに行ってレンズのつくり方を学ぶように命令しました。
- 46 レンズの歴史は紀元前9世紀のイラクとエジプトに戻ります。
- 47 13世紀ごろのイタリアで人々はガラスのレンズを眼鏡として使い始めました。
- 48 当時、とてもお金持ちの人たちだけが眼鏡をもてました、なぜなら、それらはとても高価だったからです。

- 49 そして、15世紀の中ごろ、グーテンベルグという一人のドイツ人が印刷機を発明しました。
- 50 多くの本が印刷され、普通の人々が本を読み始めました。
- 51 すぐに、どんどん多くの人々が眼鏡を持ちたがりました。
- 52 初期の眼鏡は現在の虫眼鏡のようなもので、人々はそれを片手で持ちました。
- 53 それを通すと物が実際のものよりも大きく見えました。
- 54 近視の人のための眼鏡は16世紀に発明されました。
- 55 これらの眼鏡は「拡大鏡」のためのものとは異なるタイプのレンズをもっていました。
- 56 このタイプのレンズは中央がより薄く、端がより厚くなっています。
- 57 これは凹レンズと呼ばれています。（図1）
- 58 目の中にはその厚さを変えることができるレンズがあります。
- 59 私たちが遠くの目標を見るとき、レンズは薄くなります。
- 60 このようにして、レンズを通してきた光は目の後ろの同じ場所に出合います。（図2）
- 61 近視の人の目はレンズの厚さをあまりうまく変えることができません。
- 62 目に入ってきた光は目の後ろにとどく前に出合います。（図3）
- 63 凹レンズを使うことで光は目の中のより遠く後ろに出合います。
- 64 17世紀以後、枠のついた眼鏡が開発され、人々は持つ代わりに眼鏡を身につけることができるようになりました。
- 65 眼鏡が使いやすくなるにつれて、人々はそれを保護やファッションのアイテムなど、様々な目的に使用するようになりました。
- 66
- 1726年にジョナサンスイフトによって書かれたガリバー旅行記では、ガリバーが戦いの中で彼に向かって放たれた小さな矢から彼の目を守るために眼鏡を使いました。
- 67 この場合、ガリバーは彼の眼鏡をもうひとつの目的のために使用したのです。

- 68 どうしましたか？かばんを無くしました。
- 69 見つけるのを手伝っていただけますか。
- 70 もちろんです。どこでなくしましたか。
- 71 駅です。一人の男の人が私に道をたずねました。
- 72 私たちが話している間に、私のかばんがなくなりました。
- 73 そのかばんはどのようなものですか。
- 74 それは大きな茶色の肩掛けかばんです。
- 75 何が入っていましたか。
- 76 ただ何冊かの本と、ああ。携帯電話です。
- 77 現金は？
- 78 いいえ。私のお金はポケットにあります。
- 79 わかりました。あなたの名前と住所をここに書いてください。